

平成26年度一般会計決算

どう使われた？みんなのお金

歳入

町の主要事業を行う一般会計決算の収入済額は149億3千1百8万8千5百59円で前年度より6億3千4百76万2千58円の4.1%減少している。

自主財源は27億3千5百89万6千9百87円で前年度より1億4千2百11万5千4百31円の49%減少している。

その主な要因は繰越金が前年度に比べ9千8百44万4千5百13円の12.2%減少したこと、財産収入が3千5百89万6百49円の73.3%減少したことによる。

依存財源は121億9千5百19万1千5百72円で前年度より4億9千2百64万6千6百27円の3.9%減少している。

その主な要因は地域の元氣臨時交付金事業、海岸保全施設整備事業、学校施設環境改善交付金事業などに係る国庫支出金が前年度と比較すると3億7千8百49万2百68円の22%

大きく縮減したことによる。

更に地方交付税も2億1百11万9千円の2.3%減少したことから、依存財源が縮小する中、町債発行額が前年度と比較すると1億1千2百99万5千円の10.4%増加した。

その主なものは、橋総合支所建設事業等に伴う合併特別債の増によるものである。

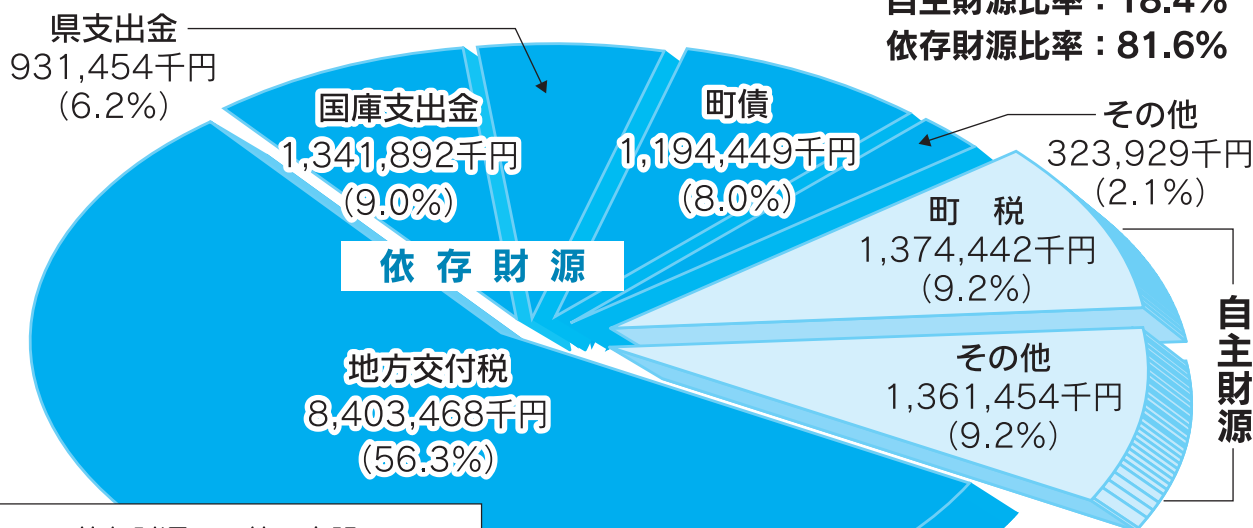
歳出

支出済額は142億7千1百54万3千1百76円で前年度実績に対し5億8千5百45万6千5百71円減少している。

その要因は議会費、総務費、民生費、衛生費、公債費が前年度と比較すると3億8千5百9万7千2百4円の4.8%増加したのに対して農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、諸支出金が前年度と比較すると9億7千55万3千7百75円の14.4%減少し、増加額を上回ったことによる。

▶ 入ってきたお金 〈一般会計〉

【財源構成別歳入決算額】



* 依存財源その他の内訳 *

・地方譲与税	101,540千円	(0.7%)
・地方消費税交付金	182,089千円	(1.2%)
・その他交付金	40,300千円	(0.2%)

* 自主財源その他の内訳 *

・分担金及び負担金	89,819千円	(0.6%)
・使用料及び手数料	194,342千円	(1.3%)
・財産収入	13,040千円	(0.1%)
・寄附金	10,216千円	(0.1%)
・繰入金	98,325千円	(0.7%)
・繰越金	708,851千円	(4.7%)
・諸収入	246,861千円	(1.7%)

【**自主財源**とは、町が自前で賄うことができるお金。**依存財源**とは、地方交付税や町の借金、国・県の補助金などに頼るお金。**繰入金**とは、町の基金を取り崩して使うお金。**地方交付税**とは、自治体運営の均衡を保つため、国税の一部から配分されるお金。】